

コンデンサ同調ボックス

MXOP-CB-001

【取扱説明書 1.1.0】

本製品は、トリガーコイルの出力安定用に、一体型リーダー又はトリガユニットとの間に接続する機器です。

本書の内容は、製品の仕様も含め改良のため予告なく変更することがあります。本書に掲載されている内容は、2017年6月のものです。

MATRIX

△使用上のご注意

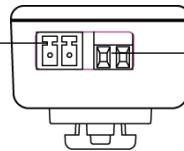
- 各線はしっかりと確実に接続してください。
- 改造・分解しないでください。
- 激しい衝撃を加えないでください。
- 幼児の手に触れる場所に放置しないでください。
- 异物を入れないでください。
- 水が入ったり、濡れたりする場所で使用しないでください。
- 本製品の上にものを置かないでください。
- 湿気や埃の多い場所、油煙や湯気があたる場所で使用しないでください。

1. トリガーコイルを接続

△ 本製品を取り付ける本体機器の電源を、必ず OFFにしてから接続してください。

差込式端子台

差込式端子※を使って、トリガーコイルを接続します。



ネジ式端子台

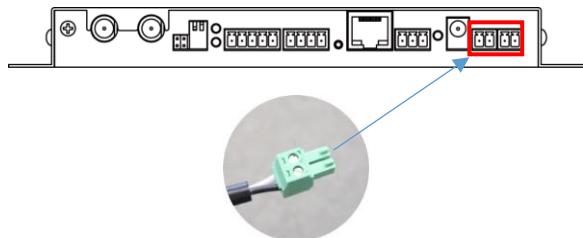
差込式端子が無いトリガーコイルとの接続の際は、こちらを使用してください。

※RT301などの本体機器

に付属の差込式端子

2. 本体機器に接続

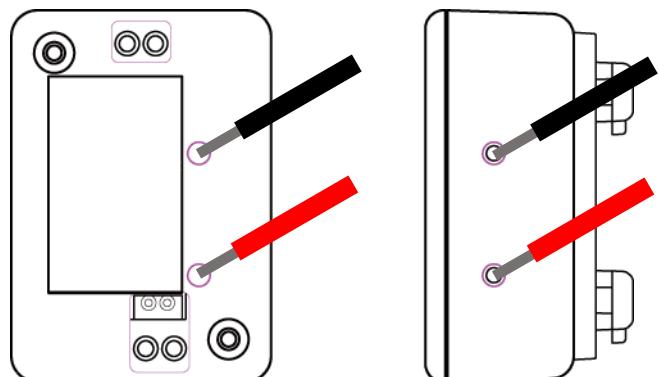
本製品に接続済みの差込式端子を本体機器 (TRG コネクタ) に接続します。



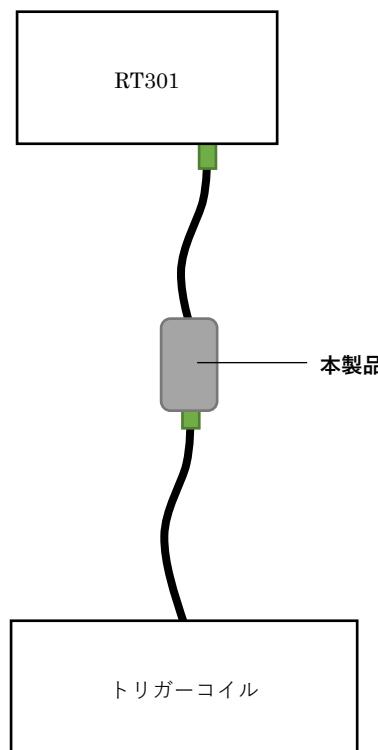
※上図は RT301 の接続例です。機器によって TRG コネクタの場所が異なる場合があります。

3. レベルチェック

デジタルマルチメーターを DC 電圧測定モードにして、レベルチェック端子にテスター棒を差し込みます。

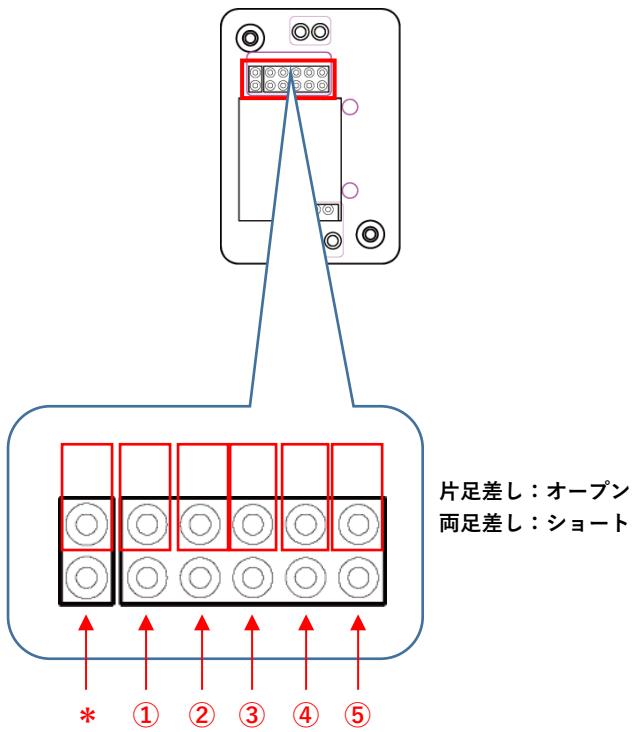


蓋側、右側面側のどちらでも測定できます。



4. コンデンサの同調方法

ケース窓の中に差し込まれているジャンパーを差しかえることで、トリガーコイルのインダクタンスに応じたコンデンサ容量に設定（同調）を行なうことができます。



片足差し：オープン
両足差し：ショート

*	ショートすると、同調が無効になります。 通常はオープンに設定してください。	
①	①～⑤をショートすると、コンデンサの容量が追加されます。	54400pF
②		26800pF
③		13600pF
④		6800pF
⑤		3400pF

コンデンサ組み合わせ表から、コイルのインダクタンスに合った組み合わせを探し、ジャンパーを切りかえてください。

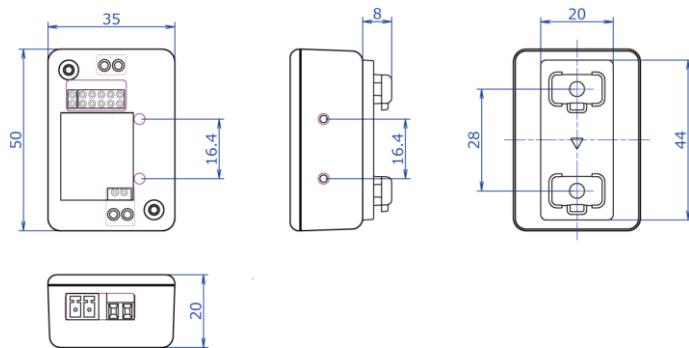
コンデンサ組み合わせ表

●ショート

- オープン

コイル L 値 [μH]	*	①	②	③	④	⑤
131.13	—	—	—	—	—	—
113.58	—	—	—	—	—	●
100.17	—	—	—	—	●	—
89.59	—	—	—	—	●	●
81.04	—	—	—	●	—	—
73.97	—	—	—	●	—	●
68.04	—	—	—	●	●	—
62.99	—	—	—	●	●	●
59.24	—	—	●	—	—	—
55.37	—	—	●	—	—	●
51.98	—	—	●	—	●	—
48.98	—	—	●	—	●	●
46.31	—	—	●	●	—	—
43.91	—	—	●	●	—	●
41.75	—	—	●	●	●	—
39.79	—	—	●	●	●	●
37.47	—	●	—	—	—	—
35.88	—	●	—	—	—	●
34.43	—	●	—	—	●	—
33.08	—	●	—	—	●	●
31.84	—	●	—	●	—	—
30.69	—	●	—	●	—	●
29.62	—	●	—	●	●	—
28.62	—	●	—	●	●	●
27.82	—	●	●	—	—	—
26.94	—	●	●	—	—	●
26.11	—	●	●	—	●	—
25.33	—	●	●	—	●	●
24.59	—	●	●	●	—	—
23.9	—	●	●	●	—	●
23.25	—	●	●	●	●	—
22.63	—	●	●	●	●	●

外形図（本体）



外形図（壁掛けブラケット）

